

#### IV ポイントカード等の保有・利用状況

##### 1 概要

##### (1) ポイントカード等の保有割合が最も高いのは北海道地方

世帯全体について、ポイントカードやマイレージカードを持っている世帯員がいる世帯の割合は全国で72.1%となっており、前年と比べると、0.1ポイントの低下となっている。これを地方別にみると、北海道が79.1%と最も高く、次いで関東が76.6%、東海が71.0%などとなっている。また、前年と比べると、東海が3.8ポイントの上昇と最も上昇幅が大きく、東北が2.6ポイントの上昇、北海道及び四国が1.0ポイントの上昇となっている。

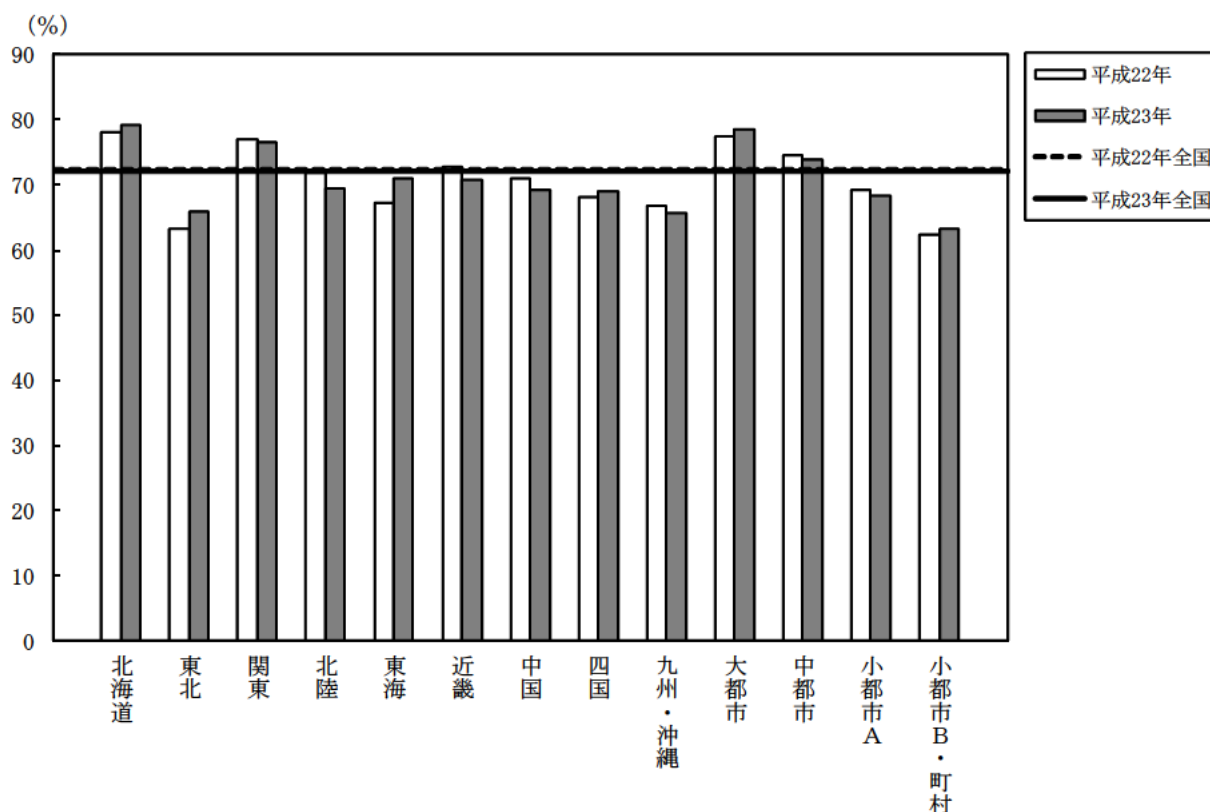
都市階級別にみると、大都市が78.4%と最も高くなっている。また、前年と比べると、小都市B・町村が1.0ポイント、大都市が0.9ポイントの上昇となっている。(表30、図30)

表30 全国・地方・都市階級別ポイントカード等の保有状況の推移(総世帯)

	全国	地方									都市階級			
		北海道	東北	関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄	大都市	中都市	小都市A	小都市B・町村
【ポイントカード等を持っている世帯員がいる】														
平成21年	69.7	72.2	63.7	74.5	65.9	66.4	72.7	68.4	62.8	60.7	75.1	71.0	70.0	57.3
22 (a)	72.2	78.1	63.3	77.0	71.9	67.2	72.7	71.0	68.0	66.8	77.5	74.5	69.2	62.3
23 (b)	72.1	79.1	65.9	76.6	69.4	71.0	70.7	69.3	69.0	65.7	78.4	73.9	68.4	63.3
ポイント差(b-a)	-0.1	1.0	2.6	-0.4	-2.5	3.8	-2.0	-1.7	1.0	-1.1	0.9	-0.6	-0.8	1.0

(注) 地方・都市階級ごとの世帯総数に対する割合。図30も同じ。

図30 全国・地方・都市階級別ポイントカード等の保有状況(総世帯)



(2) ポイントで交換したもので最も多いのは食品（飲料含む）

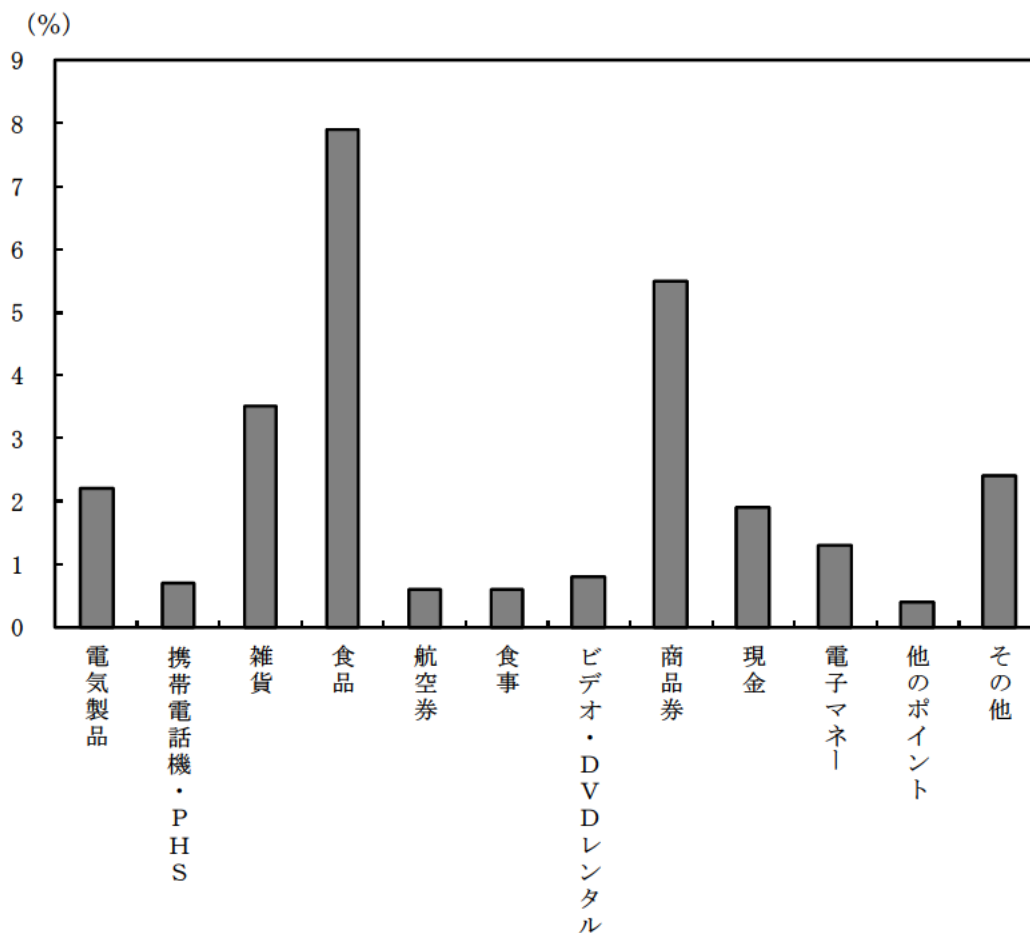
世帯全体について、貯めたポイントで交換したものの（複数回答）の割合をみると、食品（飲料含む）が7.9%と最も高く、次いで商品券が5.5%、雑貨が3.5%などとなっている。（表31、図31）

表31 貯めたポイントで交換したものの推移（総世帯）

	電気製品 1)	携帯電話機 ・PHS	雑貨	食品 2)	航空券 3)	食事	ビデオ・ DVD レンタル	商品券	現金	電子マネー	他の ポイント	その他
平成21年	3.0	0.7	3.4	6.6	0.5	0.4	0.7	5.2	1.5	0.6	0.5	1.7
22	2.6	0.8	3.2	7.1	0.4	0.6	0.6	5.8	1.8	1.2	0.4	1.8
23	2.2	0.7	3.5	7.9	0.6	0.6	0.8	5.5	1.9	1.3	0.4	2.4

(注) 複数回答  
 1) 消耗品含む。  
 2) 飲料含む。  
 3) アップグレード含む。  
 図31も同じ。

図31 貯めたポイントで交換したものの（総世帯）－平成23年



## 2 世帯主の年齢階級別

### (1) ポイントカード等の保有割合が最も高いのは40～49歳の世帯

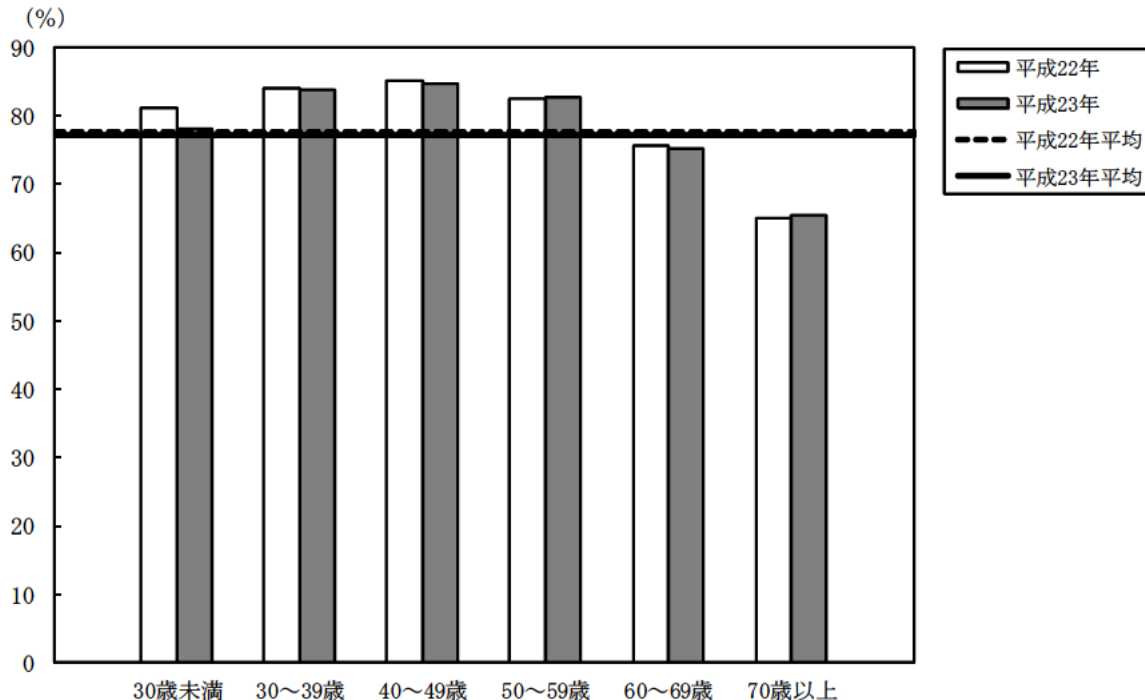
二人以上の世帯について、ポイントカードやマイレージカードを持っている世帯員がいる世帯の割合を世帯主の年齢階級別にみると、40～49歳が84.7%と最も高く、次いで30～39歳が83.7%、50～59歳が82.6%などとなっている。また、前年と比べると、70歳以上が0.4ポイントの上昇、50～59歳が0.1ポイントの上昇となっている。（表32、図32）

表32 世帯主の年齢階級別ポイントカード等の保有状況の推移（二人以上の世帯）

	平均	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
(%)							
【ポイントカード等を持っている世帯員がいる】							
平成21年	74.8	82.1	84.1	84.0	80.2	71.9	60.1
22 (a)	77.5	81.1	83.9	85.2	82.5	75.7	65.0
23 (b)	77.2	78.1	83.7	84.7	82.6	75.2	65.4
ポイント差(b-a)	-0.3	-3.0	-0.2	-0.5	0.1	-0.5	0.4

(注) 年齢階級ごとの世帯総数に対する割合。図32も同じ。

図32 世帯主の年齢階級別ポイントカード等の保有状況（二人以上の世帯）



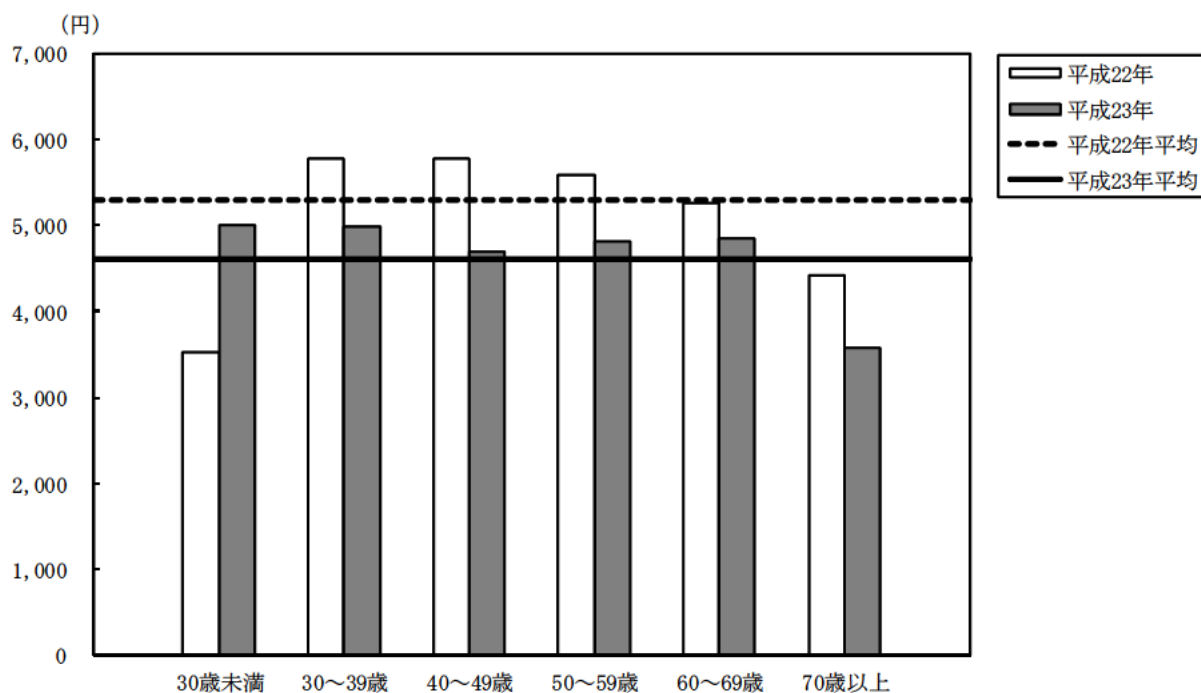
(2) ポイントを交換した金額が最も多いのは30歳未満の世帯

二人以上の世帯について、ポイントを交換した1世帯当たり1か月間の平均交換金額を世帯主の年齢階級別にみると、30歳未満が5,005円と最も多く、次いで30～39歳が4,981円、60～69歳が4,858円などとなっており、前年と比べると、30歳未満を除き、減少となっている。(表33、図33)

表33 世帯主の年齢階級別ポイントを交換した1世帯当たり1か月間の平均交換金額の推移(二人以上の世帯)

	平均	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
平成21年	4,749	2,088	4,363	5,315	4,645	4,937	4,267
22	5,300	3,531	5,773	5,773	5,591	5,256	4,412
23	4,607	5,005	4,981	4,688	4,821	4,858	3,581

図33 世帯主の年齢階級別ポイントを交換した1世帯当たり1か月間の平均交換金額(二人以上の世帯)



### 3 世帯主の勤めか自営かの別

#### (1) ポイントカード等の保有割合が最も高いのは会社などの役員の世界帯

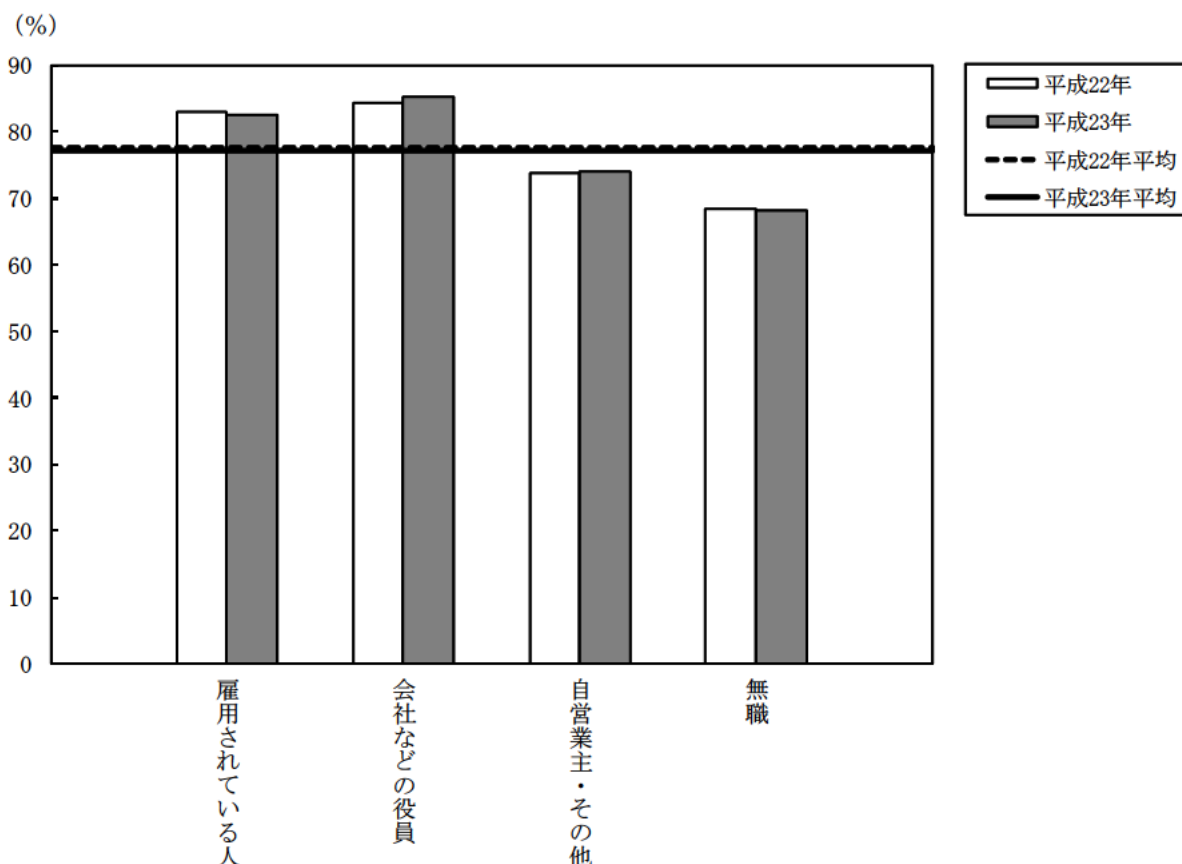
二人以上の世帯について、ポイントカードやマイレージカードを持っている世帯員がいる世帯の割合を世帯主の勤めか自営かの別にみると、会社などの役員が 85.1%と最も高く、次いで雇用されている人が 82.5%、自営業主・その他が 74.0%などとなっている。また、前年と比べると、会社などの役員が 0.7 ポイントの上昇、自営業主・その他が 0.3 ポイントの上昇となっている。(表 34、図 34)

表 34 世帯主の勤めか自営かの別ポイントカード等の保有状況の推移 (二人以上の世帯)

	平均	雇用されている人	会社などの役員	自営業主・その他	無職
(%)					
【ポイントカード等を持っている世帯員がいる】					
平成21年	74.8	81.1	82.8	70.4	64.6
22 (a)	77.5	82.9	84.4	73.7	68.3
23 (b)	77.2	82.5	85.1	74.0	68.1
ポイント差 (b-a)	-0.3	-0.4	0.7	0.3	-0.2

(注) 勤めか自営かの別ごとの世帯総数に対する割合。図34も同じ。

図 34 世帯主の勤めか自営かの別ポイントカード等の保有状況 (二人以上の世帯)



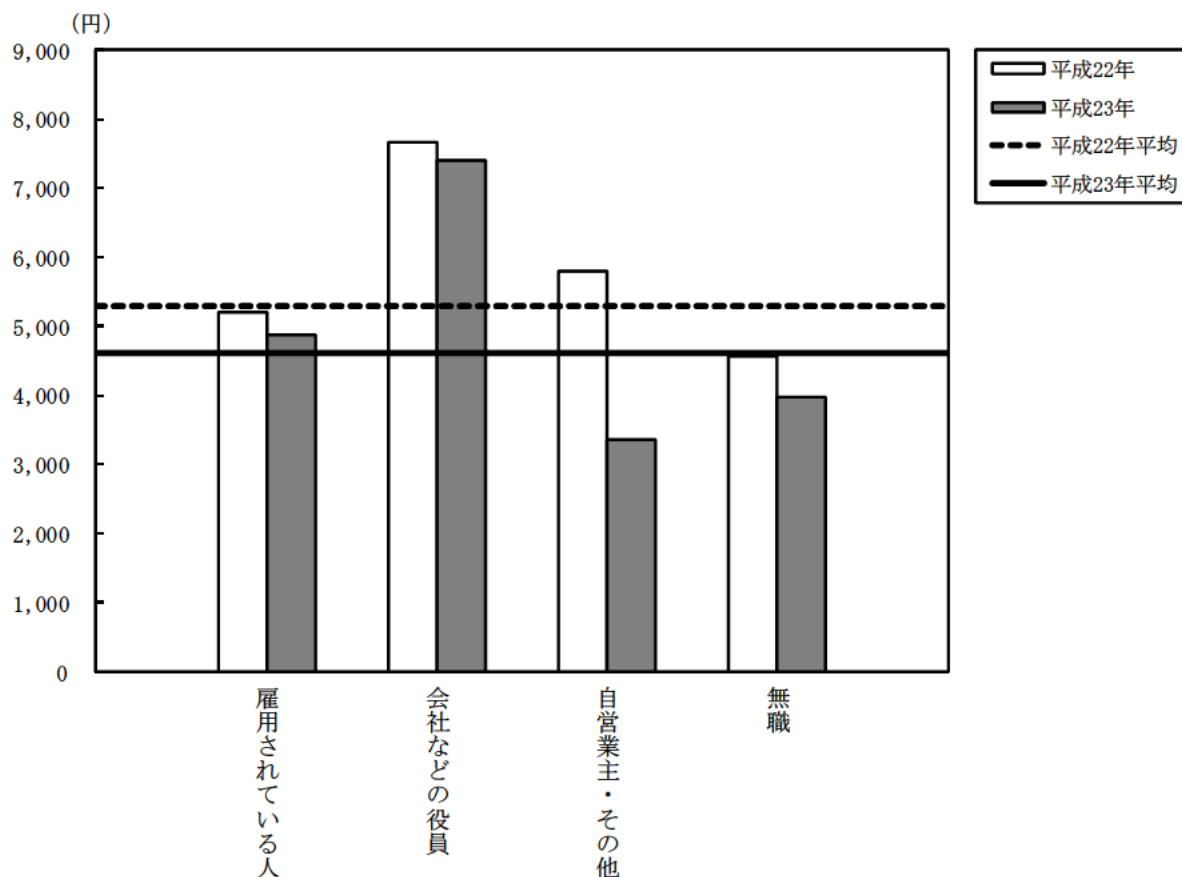
(2) ポイントを交換した金額が最も多いのは会社などの役員の世帯

二人以上の世帯について、ポイントを交換した1世帯当たり1か月間の平均交換金額を世帯主の勤めか自営かの別にみると、会社などの役員が7,410円と最も多く、次いで雇用されている人が4,884円、無職が3,979円などとなっており、前年と比べると、いずれも減少となっている。(表35、図35)

表35 世帯主の勤めか自営かの別ポイントを交換した1世帯当たり1か月間の平均交換金額の推移(二人以上の世帯)

(円)					
	平均	雇用されている人	会社などの役員	自営業主・その他	無職
平成21年	4,749	4,907	7,439	4,337	4,111
22	5,300	5,212	7,675	5,789	4,566
23	4,607	4,884	7,410	3,351	3,979

図35 世帯主の勤めか自営かの別ポイントを交換した1世帯当たり1か月間の平均交換金額(二人以上の世帯)



#### 4 年間収入階級別

##### (1) 年間収入階級 500 万円以上の世帯ではポイントの保有割合は 80%を超える

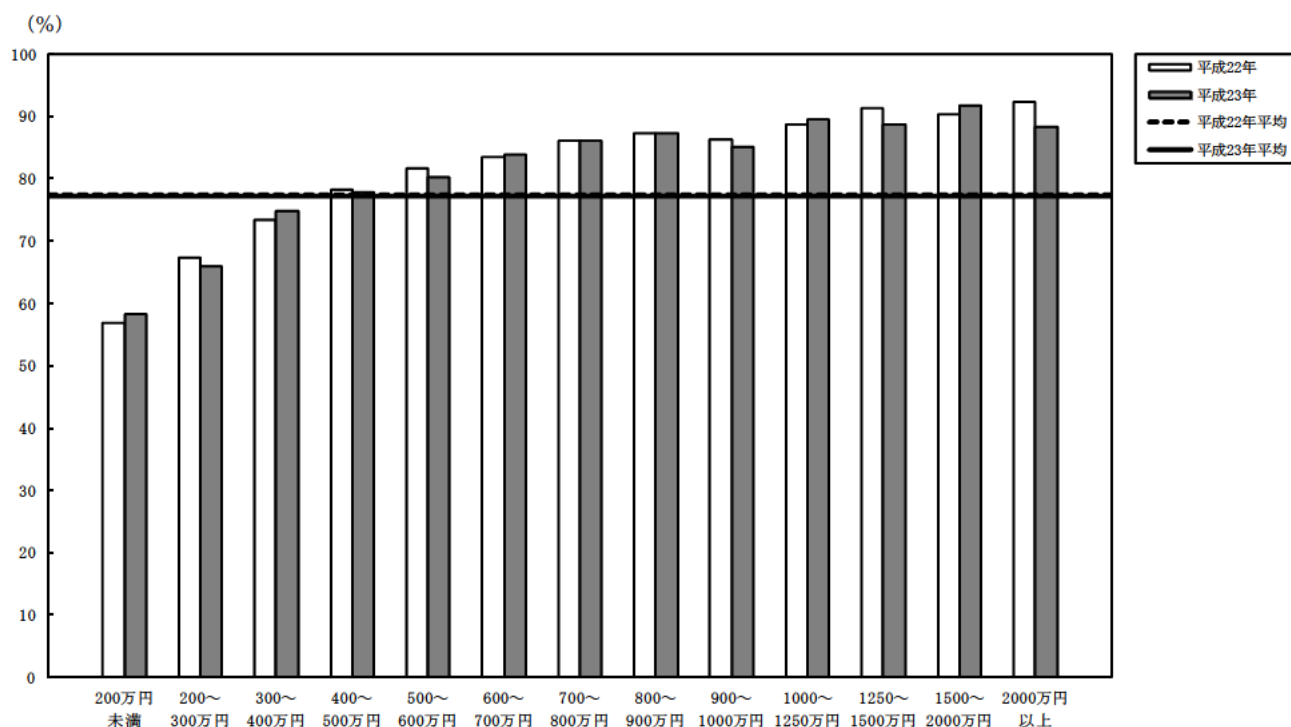
二人以上の世帯について、ポイントカードやマイレージカードを持っている世帯員がいる世帯の割合を年間収入階級別にみると、500 万円以上の世帯では 80%を超えており、1500～2000 万円未満の世帯が 91.7%と最も高く、次いで 1000～1250 万円未満の世帯が 89.6%、1250～1500 万円未満の世帯が 88.7%などとなっている。また、前年と比べると、300～400 万円未満の世帯が 1.5 ポイントの上昇と最も上昇幅が大きく、次いで 200 万円未満の世帯が 1.4 ポイントの上昇、1500～2000 万円未満の世帯が 1.3 ポイントの上昇などとなっている。(表 36、図 36)

表 36 年間収入階級別ポイントカード等の保有状況の推移（二人以上の世帯）

	平均	200万円未満	200～300万円	300～400万円	400～500万円	500～600万円	600～700万円	700～800万円	800～900万円	900～1000万円	1000～1250万円	1250～1500万円	1500～2000万円	2000万円以上
(%)														
【ポイントカード等を持っている世帯員がいる】														
平成21年	74.8	52.4	63.4	69.8	75.6	78.9	80.1	83.4	85.9	85.2	88.0	86.8	89.0	87.2
22 (a)	77.5	56.9	67.3	73.4	78.2	81.7	83.5	86.1	87.4	86.4	88.8	91.3	90.4	92.3
23 (b)	77.2	58.3	66.0	74.9	77.8	80.3	83.9	86.2	87.4	85.0	89.6	88.7	91.7	88.4
ポイント差(b-a)	-0.3	1.4	-1.3	1.5	-0.4	-1.4	0.4	0.1	0.0	-1.4	0.8	-2.6	1.3	-3.9

(注) 年間収入階級ごとの世帯総数に対する割合。図36も同じ。

図 36 年間収入階級別ポイントカード等の保有状況（二人以上の世帯）



(2) 年間収入階級 2000 万円以上の世帯ではポイントを交換した金額は 10,000 円を超える

二人以上の世帯について、ポイントを交換した 1 世帯当たり 1 か月間の平均交換金額を年間収入階級別にみると、2000 万円以上の世帯では 10,000 円を超え、15,863 円と最も多く、次いで 1000～1250 万円未満の世帯が 7,700 円、1500～2000 万円未満の世帯が 7,425 円などとなっている。また、前年と比べると、200 万円未満、500～600 万円及び 900～1000 万円の世帯が増加となっており、それ以外の世帯は減少となっている。(表 37、図 37)

表 37 年間収入階級別ポイントを交換した 1 世帯当たり 1 か月間の平均交換金額の推移 (二人以上の世帯)

		(円)													
		平均	200万円未満	200～300万円	300～400万円	400～500万円	500～600万円	600～700万円	700～800万円	800～900万円	900～1000万円	1000～1250万円	1250～1500万円	1500～2000万円	2000万円以上
平成21年		4,749	4,046	3,090	3,518	4,149	4,332	4,593	4,716	4,524	6,389	6,372	7,964	11,104	10,680
22		5,300	2,633	3,611	3,791	4,302	4,494	4,899	4,989	9,452	6,363	7,735	7,618	11,449	15,875
23		4,607	3,284	2,383	3,280	3,597	4,753	4,731	4,188	5,843	6,802	7,700	6,211	7,425	15,863

図 37 年間収入階級別ポイントを交換した 1 世帯当たり 1 か月間の平均交換金額 (二人以上の世帯)

